



おおば
まさあき

大場 正昭
議員



道路整備と
災害対策の在り方

問 三川地区から磐田
市側にアクセスする
東西道路の早期整備を望む
がどうか。

答 横川磐田線は県が、
山田市内の狭隘部を
含めた磐田市までの690
メートルの設計を完了させ、
今後は用地取得後工事に着
手すると聞いている。大谷
幕ヶ谷線は、大谷公会堂か
ら山頂付近までの780メ
ートルを、平成25年度から
現地調査や測量設計に着手
している。残りのみつかわ夢
の丘公園入口より幕ヶ谷橋
手前までの670メートル
は、山頂付近までの工事が
完了次第、事業に着手して
いく。川会西山線は川会交
差点からみつかわ夢の丘公
園を経由し磐田市までの
2430メートルのうち、川
会交差点から210メート
ルを平成27年度から事業に
着手している。残りの区間は
山間部となるので、十分な
調査と観測をした上で慎重
な検討が必要と考えている。



道路整備が進む市道大谷幕ヶ谷線(大谷三島神社北側)

人工崖の土砂災害対策

問 市内には宅地造成
による人工的に形成
された崖で要対策箇所は何
カ所あるか。

答 市では令和4年度
に国のガイドライン
に基づき、盛土や擁壁の変
状や湧水の有無などの調査
を行ったが、春岡の土地区
画整理事業地内をはじめ18
カ所。全てにおいて、滑動
崩落を示唆する変状は認め
られなかった。



たけの
のぼる

竹野 昇
議員



災害関連死ゼロを
目指して

問 避難所の床への雑
魚寝が体を冷やし、
ほこりを吸いやすく、感染
症になりやすい。ダンボー
ルベッドを配布できるよう
必要数を備蓄しては。

答 簡易ベッド約10
00台、ダンボール
ベッド15台を備蓄してある。
また、災害時に物資の供給
協定を締結している大和紙
器株式会社から、発災後速
やかに調達していきたい。

一般廃棄物の最終処分

問 市内で出る廃棄物
は地域内で処理処分
するのが理想。市は最大限
そうできるような努力すべき
であるがどうか。

答 最終処分場は令和
8年12月で埋め立て
期間が終了する。構成3市
町で協議し、候補地選定に
あたり地域との合意形成に
至らなかったなどの理由に
より、民間委託することと
した。

自治会費を
減らすために

問 全ての自治会から
集めていると思われる
各種団体の会費など本来、
任意制であるため指導をす
るべきでは。活動費が不足
するなら助成金を増額すべ
きでは。

答 各種団体に対して、
意見があったことを、
助言していきたい。



資源ごみ回収の分別収集体示板



き
した
ただし

木下 正
議員



スポーツによる
地方創生と健康推進

問 スポーツイベント
の今後の計画と市の
具体的な方針は。

答 ふくろいスポーツ
デイなど体験イベン
トを開催、競技の魅力を市
民に伝え、多様なスポーツ
に親しみ、市民の運動意欲
向上や交流を通じてにぎわ
いの創出に努めたい。また、
関係団体のイベントも周知
連携し、健康増進や地域活
性化につなげていきたい。

袋井市の文化財の
保存・活用

問 専門家の育成と技
術の承継について、
具体的な教育プログラムや
研修は。

答 担い手の育成が課
題であり、既存の団
体の活動を広く周知し、担
い手の確保育成に努めてい
る。また、郷土資料館では
中学生が職場体験を実施し
た。今後は、文化財の価値
を伝える機会を設け、担い
手の確保増加につなげたい。

問 健康推進プログラ
ムと市民の参加状況
はどうか。

答 ふくろい健康保健
室の運動教室は本年
度から、まちづくり協議会
と連携し、地域の健康課題
や希望などに沿ったテーマ
を取り入れて回数、人数と
も前年度より増加が見込ま
れる。また、出前健康教室
を実施する事業所を増やす
ための取組をしている。



大門遺跡から発掘された土器のクリーニング作業